

研究主題 「自己の生き方を追求し、よりよい社会を創ろうとする能動的学習者の育成」 ～知・徳・体を総合的に育むICTを活用したキャリア教育の実践を通して～

研究の目的 「自己調整学習」をキャリア教育の視点で捉え、効果的にICTを活用して実践することによって、よりよく生きようとする意欲と資質・能力、態度を育む。

# R4校内研究 グランドデザイン

育みたい意欲と資質・能力、態度

知

学習意欲

徳

自己効力感

体

自己調整力

基礎的・汎用的能力の育成「自己理解能力」「他者理解能力」「人間関係形成能力」「社会形成能力」「キャリアプランニング能力」「課題対応能力」

## 具体的な12のプロジェクト

### 研究内容

#### 動機付けにおけるICTの活用

キャリア教育の視点による「同一化調整（外発的動機づけ）」と「内発的動機づけ」の工夫

#### メタ認知におけるICTの活用

見通しと振り返りの場を設定し「セルフモニタリング」と「セルフコントロール」の能力の向上

#### 学習方略におけるICTの活用

指導と評価の一体化の観点から「指導の個別化」と「学習の個性化」を図る多様な学習方法の工夫

#### ICTを活用したキャリア教育による自己調整学習

#### P1 ICTを活用した学びのポートフォリオ

全ての教科で、単元のまとめとして学習と生活や社会、職業との関わり、異教科や異学年の学習との関わりを記録、蓄積し、学習の目的や学ぶ意義を実感させる。

#### P2 ICTを活用したキャリア教育の視点による授業改善

<学習内容>学習を生活や社会、職業とつなげたり、異教科や異学年の学習とつなげたりすることで、学ぶ目的や学ぶ意義を理解させ、学習の同一化調整（外発的動機づけ）を図る。

<学習方法>学習過程（課題提示、学習の流れ、個の学び、協働的な学び、まとめ、振り返り）において、基礎的・汎用的能力の活用しながら「主体的・対話的で深い学び」の実現を図る。その際、ICTの活用し、授業のユニバーサルデザイン化を図り、みんながわかる、できる、楽しい授業を実現し、学習の内発的動機づけを図る。

#### P3 キャリア教育の視点によるカリキュラム・マネジメント

「生活や社会、職業との関わり」、「異教科や異学年との関わり」、「SDGsとの関わり」をカリキュラム表に示し、単元の配置と題材、教材等学習内容の工夫を図る。

#### P4 自己肯定感・自己有用感を高め、自己効力感を育むICTを活用したキャリア・パスポートの効果的な活用

自分を振り返る年3回（学年始、1学期末、学年末）のCPと日常の行事や活動を振り返り、蓄積するCPを活用する授業を学級活動に位置付ける。

#### P5 多様な視点から振り返るキャリア・パスポートの工夫

「もう一人の自分」の視点から、「これまでの自分」を振り返り、「今の自分」を見つめ、「これからの自分」えがくことで、「なりたい自分」と「なれる自分」を育み、その重なりを拡大を図る。

#### P6 知・徳・体にかかわる教育情報をICTで可視化した自己理解シートの活用

教育相談を生き方を考えるキャリアカウンセリングと捉え、自己理解シートを活用して、学習や生活への意欲を高める。

#### P7 毎日の生活情報をICTで可視化した生活理解シートの活用

生活理解シートを活用した健康教育を学級活動に位置付けて、自分の生活情報をタブレットで可視化し、学習や生活を自己調整しようとする態度を養う。

#### P8 教育相談（キャリアカウンセリング）による育みたい意欲と資質・能力、態度の育成

年3回の教育相談を教育課程に位置付け、「キャリア・パスポート」「自己理解シート」を活用し、教師と生徒が対話的にかわることで、学習や生活への意欲を高める。

## 多様な視点からの研究評価活動

#### P9 学習状況の観点別評価

ICTを活用して、知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体的に学習に取り組む態度の3観点の評価を工夫する。結果を分析し、授業改善に生かす。

#### P10 基礎的・汎用的能力のルーブリック表

道徳での学びを日常生活や授業で生かせるよう、道徳性と関連づけた基礎的・汎用的能力のルーブリック表を作成し、自己評価能力を育成する。

#### P11 学校評価アンケート

年2回の学校評価アンケートを分析し、PDCAサイクルでカリキュラム・マネジメントに生かす。また、生徒アンケートの結果を生徒に還元する。

#### P12 NRTやQ-U、全国学力学習状況調査

これまでも行われている学力検査等の生徒情報を分析し、生徒の成長と今後の課題を把握し、教育活動に生かす。